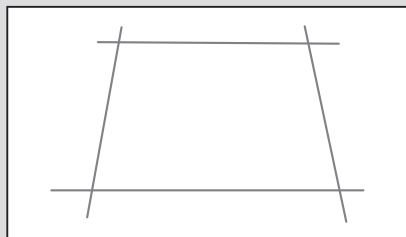


■施工方法

1 位置決め

設置位置を決め、作図します。

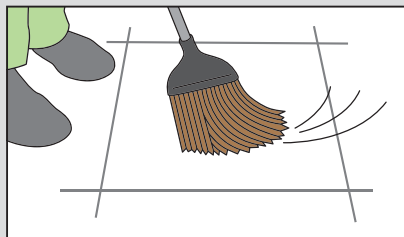
レイアウト図が入っている場合は、図にしたがって展開してください。



2 清掃

ほうき等で設置面の清掃をします。

水分やゴミ・汚れ等を十分に取り除きます。
凹部分は念入りに清掃を行ってください。
設置面が濡れている場合は施工できません。



3 貼付

シートの裏フィルムを約10cm程度、剥がし設置位置に合わせて貼ってください。(位置固定のため)その後、空気やシワが入らないよう徐々に裏フィルムを剥がしながらシートを貼り付けてください。

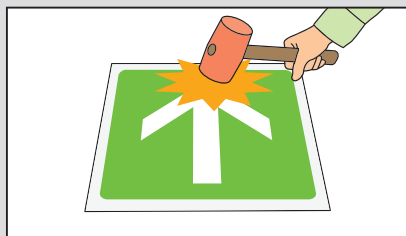
何度も貼り直すとシートが伸びる場合があります。



4 圧着

シート中央から外側に向けてゴムハンマー等で空気を抜くように圧着します。とくにエッジ部分は十分に圧着して下さい。

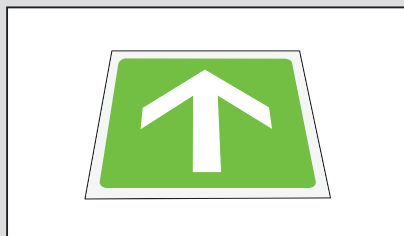
圧着によるシート表面の汚れがきになる場合はタオル等を敷いて圧着してください。



5 施工完了

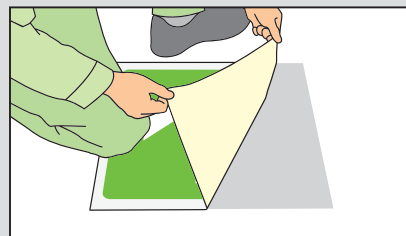
シート圧着後、設置面の凹凸部までシートが接着していることを確認し、施工完了です。

設置面とシートの間隙があると、浸水し剥がれる恐れがあります。



6 撤去

手でシート端部をめくり、ゆっくり引っ張りながら剥がしてください。



■施工の注意点

- 設置面に水分が残っていたり、ゴミやホコリ、油分などの汚れが付着している場合は剥がれの原因になります。十分に乾燥、清掃を行ってください。
- 施工時の外気温が低いとき(気温10℃以下)は、ガスバーナーなどで設置面の温度を40℃程度になるまで加熱してください。
- バーナー使用時は火気に充分ご注意ください。

- シートは、施工直前まで直射日光を避け涼しい所に立掛厳禁で保管ください。
- 設置面の適合性・接着性を充分にご確認ください。
- 設置面に凍結防止剤が残留している場合、必ず除去してください。

■施工場所の注意点

※下記の場所については施工を避けてください。

- 水没する場所。(雨が降ると水たまりになる場所など)
- 設置面に防水・撥水塗装がされている場所。
- 設置面に亀裂が入っている場所。
- コンクリート新設舗装から3ヶ月以内の設置面。表面のレイトランスにより接着性を損ねる原因になります。
- ロードヒーティングが施設され稼働している時。
- 設置面の凹凸が激しい場所。(アスファルト・コンクリート路面が劣化している場所など。)
- 車のタイヤの負荷がかかる場所。(車が急発進・急停止する、ハンドルがきられる場所など)

- 公道への施工は道路管理者の許可が必要です。
- その他、設置面に関して、ご質問がございましたら、当社までお問い合わせください。

※裏面に「インクジェットプリンタ出力の注意事項」等が記載されておりますので 必ずお読みください。

■インクジェットプリンタ出力の注意事項

- 対応の印刷機は大型インクジェットになります。
- 対応インクは溶剤系・低溶剤系インク・UVインク・ラテックスインクとなっております。
- 印刷前に**ヘッドとメディアがぶつからないようプリンタの設定を必ず確認**してください。
適切な設定をしていない場合キレイに印刷されずヘッドが破損する恐れがあります。
- メディアの方向がまっすぐであることや全体にたるみ、剥離フィルムからの浮きがないことを確認してください。
- ご使用になる前にテスト印刷を行って、発色および乾燥性を確認してください。

■保管方法

- 直射日光、水漏れ、急激な温度変化を避け、火気のない屋内で保管してください。
- ロールを積み重ねたり、重量物を載せることは避けてください。
- 印刷面を内側に巻いた場合、剥離フィルムのトンネル現象が発生しやすいため、必ず印刷面を外側に巻いてください。
- 使用後は発送時に近い状態で保管してください。

■廃棄方法

- 本製品を廃棄する際は、各自治体の条例に従い、適切に処理してください。

■免責事項

- 第三者の故意、過失による不具合、天災、地盤や周辺環境に起因する製品の損傷、不具合。
- 経年劣化による汚れ、摩耗による製品の劣化や剥離。
- 万一、材料に起因する不都合が生じた場合は、材料のみ代替え提供いたします。二次的損害については、保証いたしかねますのでご了承ください。
- 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不都合による損害・損失。